

無公害洗浄液 EC-1000

人と地球にやさしく

<http://www.horus.co.jp>

株式会社 ホルス

〒193-0821 東京都八王子市川町 244-310

Tel 042 (650) 6650

Fax 042 (650) 6651

☆ 高性能洗淨剤 *EC-1000* ☆

*EC-1000*は、アメリカにおいて環境保護を考慮し独自の製法により開発されたコロイド洗淨液です。

汚れの固体粒子は磁力の作用でコロイドに包み込まれ、塵埃やグリース、オイル、その他の汚染物質に付着し、汚れの粒子を包み込み汚れを落とします。希釈率により、工業用から家庭用まで広範囲に、又多目的にご利用できます。*EC-1000*は安全洗淨への突破口、類を見ない低発泡性と生分解性処方毒性、公害性を持たず、かつ非引火性の安全な洗淨液として環境保全、水質汚染防止に威力を発揮しています。

★ 米国食品衛生局 (USDA)、労働省安全局 (OSHA)、沿岸海染監督局 (USCG)、米軍規格の許認可製品です。

☆ 特 徴 ☆

- 製法特許によって製造された洗淨液です。
- 原液ですので希釈率によって多目的に使用出来ます。
- 植物性で生分解性に優れ、環境汚染の心配がありません。
- 非引火性の為高温エリアでも安全です。
- 人体に安全で手荒れや刺激感を与えません。
- 石油系界面活性剤も苛性ソーダも含みません。
- 特別な添加剤を必要とする場合、アルカリ、石油系溶剤とも混合する事が出来ます。
- 危険な塵埃、ガス、臭気、蒸気、霧、煙などを発生させません。
- 溶剤を含みませんので、金属、プラスチック、塗料、繊維、ゴム、電磁皮膜等を損ないません。
- 水に対する溶解度が高く、真水でも塩水でも同様の効果を発揮します。
- 高圧洗淨方法が最も効果的です。

☆ 主な用途 ☆

- ☆ 各種工場：機械類、油だめ、ポンプ類、ポンプ台座、コンプレッサー、タンク、機械部品、コンベアーベルト、床、壁、木工具、窓、建物、プラスチック、金属
 - ★ 除去できるもの：油、グリス、埃、汚れ、染みなど。
- ☆ 運送業：車体、キャブレター、エンジン、ホイール、タイヤ、床、車内、木部、窓、ターミナルの室内、外装、コンテナの内部
 - ★ 除去できるもの：オイル、グリス、埃、染み、オイルスラッジ、ディーゼル煤煙など。
- ☆ 海運業：オイルタンカー、タンカー船倉、船底、隔壁、エンジン、エンジンカバー、デッキ及び甲板、木部、真鍮、コンテナ、窓、プラスチック、ファイバーグラス、構築物
 - ★ 除去できるもの：オイル、グリス、ディーゼル煤煙、魚油、藻類、石油製品など。
- ☆ 石油精製：原油設備、タンカーターミナル、ポンプ類、セメント、アスファルト床、ガソリンスタンド
 - ★ 除去できるもの：オイル、グリス、スラッジ、塵、汚れ、染みなど。
- ☆ パルプ、紙：機械類、インク落とし、床、壁、窓など。
 - ★ 除去できるもの：オイル、グリス、スラッジ、塵、汚れ、染みなど。
- ☆ 食品加工業：食品準備調理装置、混合槽、コンベアー、機械類、カウンター、流し、床、壁、木製品、衣類、窓、厨房、屠殺場、通い箱など。
 - ★ 除去できるもの：油脂、塵、汚れ、染み、ソース、血液など。
- ☆ 家庭用：衣類の洗濯、食器の洗浄、浴室、トイレ、家具、床、絨毯、壁、窓など。
 - ★ 除去できるもの：油脂、塵、埃、汚れ、染み、ソース、血液など。

☆ 使用方法 ☆

1. いずれの場合もスプレーするか、スポンジに溶液をつけ汚れ部分を洗浄して下さい。その後タオルで拭き取って下さい。
2. 汚れのひどい箇所の場合は、溶液をつけて暫くそのままにした後、タオルで拭き取って下さい。（必要に応じてブラッシングも可）

☆ EC-1000は抜群の洗浄効果を発揮するばかりでなく、排水管の嫌な臭いや詰まり、湯垢を取り除くのに非常に効果的です。

☆ 用途別使用方法 ☆

【グリス洗浄】

- ☆ 石油精製類、油用機械、エンジンブロック、重機、床、その他特にグリスの汚れの著しい表面には： 原液 1 : 水 1 （通常 20～30 分）
- ☆ 軽度から中程度のグリスの汚れの除去には
原液 1 : 水 3
★ 汚れの分解がスムーズに行われたら高圧水ですすぎ落として下さい。

【金属洗浄】

- ☆ 溶液に浸すか、又は手洗いによる場合
原液 1 : 水 30
- ☆ スプレー洗浄の場合
原液 1 : 水 20
★ 油汚れの除去に優れた洗浄効果を発揮し、また水に油膜が形成されないので、すすぎも簡単です。酸化ケイ素か酸化ナトリウムを結合させると、錆止めに優れた特性を示します。

【錆と腐食】

- ☆ 銅、真鍮、銀からタール状の汚れを取り除き、又腐食を防ぐ場合。鉄及びスチールの軽い錆を除去する場合。
原液 1 : 水 5
浸しておく時間は錆の程度によります。

【船舶】

- ☆ タンカー船倉から原油及び、その他の石油製品残留物を除去する場合。

原液 1 : 水 20

EC-1000が船倉全体に行き渡るまでスプレーします。油脂を包み込み、再結合しない状態に成りますので、この洗浄作業は船舶の航跡に油縞を残す恐れはありません、又一旦この反応が始まるとオイルはオイルとしての本質を失い水溶性の性質になります。EC-1000には逆乳化がありません。

【船底洗浄】

- ☆ 260リットルの船底から洗浄する場合

原液 30 : 水、又は海水 360リットル

油が溶液に溶けるまで高圧水でかき混ぜます。完全に溶けると、この混合物は乳状に見えますが、それは油縞を生じることなく処分することが出来ます。

【小型船舶】

- ☆ 手綱、操縦席のカバー、帆走用具、内張り、竜骨などのカビを洗浄する場合

原液 1 : 水 20

- ☆ 船底、甲板、船体、エンジンの油汚れを洗浄する場合

原液 1 : 水 20

- ☆ 風防ガラス、甲板、船体に付いているしみを洗浄する場合

原液 1 : 水 20

塩素や、石油系溶剤など木目を損なう様な成分は一切含まれておりませんので、木工製品、塗装面、プラスチック、ファイバーなどに対して非常に安全です。

【自動車】

- ☆ 車体の染みや汚れを洗浄する場合

原液 1 : 水 20

路面の皮膜や昆虫類の衝突、煙害を洗浄する場合

原液 1 : 水 20

タイヤのホワイトウォールの汚れを洗浄する場合

原液 1 : 水 20

- 特にひどい汚れの場合は、硬い剛毛ブラシで汚れが落ちるまで擦り、あとは高圧水ですすぎます。ラジエーターの洗浄には、約 200 CC の EC-1000 を入れ 1 週間ほど循環させた後、水を補給します。ラジエーターを清潔に保つには、約 100 CC の EC-1000 を入れると効果が実証されます。

【プラスチック】

☆ プラスチックを洗浄する場合

原液 1 : 水 5~30

石油系溶剤を全く含んでいない安全な洗剤として、プラスチックの可塑性を取り除きませんので、表面への安全性が実証されています。

【クーリングタワー】

☆ クーリングタワーの内部の洗浄の場合

原液 1 : 水 1000

上記の割合で EC-1000 を入れ、2~3 日ほど循環させた後、フィルターをはずし洗浄する。その後、水 5 トンに対し原液 1 リットルを入れておく。

【その他】

☆ 照明器具、装飾品、エアコン、家具、内張りの場合

原液 1 : 水 5~30

☆ カーペットの染み、汚れの場合

原液 1 : 水 5~80

☆ カーペット等に使用された場合、洗浄後必ず水で洗って下さい。（特に白い部分など）

☆ 壁の場合

原液 1 : 水 5~80

☆ 木製品の場合

原液 1 : 水 5~80

☆ 窓ガラスの場合

原液 1 : 水 5~80

☆ 洗濯の場合

原液 1 : 水 5~80

■ ひどい汚れの場合は、洗濯前に約 30 分位浸けおきすると効果的。

洗濯液が汚れても洗濯物に汚れは付着しませんので、何回もお使い頂けます。

★ 潤滑剤として

高速コンベアーシステム及び、無加圧の潤滑剤として EC-1000 を原液のまま。

オイルを使用したために全体的な洗浄が必要な場合、ただホースで洗い落とすだけで目的が達成されます、そのうえ EC-1000 は錆や浸食を防ぎます。

☆ EC-1000 の物理的特性 ☆

外観	均質混合
色	琥珀色
ペーハー	10.3~10.5
臭気	ほのかな心地よい香り
粘着性	110 cps
引火点	なし
沸点	200° F
毒性	なし
不溶解物	0.065%
蒸気圧力 毎 20°C	17.7MM
蒸気密度 (空気を 1 とする)	0.62
水への溶解度	99.935%
比重	1.0
揮発度	なし
表面張力	29.5
蒸発率 (7° フィアートを 1 とする)	0.4
砒素	なし
硼酸塩	なし
硼素	なし
苛性	なし
塩素	なし
クレゾール	なし
酵素	なし
蛋白質分解酵素	なし
脂肪分解酵素 (リパーゼ)	なし
でんぷん質分解酵素 (アミラーゼ)	なし
硝酸塩	なし
石油系溶剤	なし
フェノール	なし
燐酸塩	なし
珪酸塩	なし
硫酸塩	なし 0

EC-1000 用途別 希釈洗浄方法

表 1

	用 途	水：洗剤	温 度	浸漬時間	物理的器具又は使用方法
1	焼き付いたオイル・ボツ	1:2	80℃	40分	超音波・攪拌・ブラシ（航空機自動車船舶のエンジン）
2	グリコールの汚れ	1:5	60℃	20分	超音波・攪拌・ブラシ
3	重油残留物	1:20	60℃	20分	浸漬攪拌・高圧噴霧
4	金属部品	1:50	40℃	3分	攪拌・シャワー
5	工場内床の浸油	1:30	40℃	20分	床に溶液を噴霧しブラシ又は床磨機で擦る。
6	潤滑油として使用	原 液	常 温		ハケで塗る
7	洗車及び水垢落とし	1:100	常 温	発泡剤 3%	回転シャワー機（ハケの先端に凝固物が付かない）
8	プラスチック油分汚れ	1:50	常 温		布又は柔らかいハケで拭き取る
9	ステンレス（鏡面）	1:100	常 温		スプレーして水で洗い流す
10	アルミ材料	1:30	常 温	10分	汚れが分解するまで待つて拭き取る
11	廃油の中和	1:40	常 温	20分	浸漬攪拌、乳化したら河川、海、地上に排水
12	ビルの外壁	1:80	常 温		回転式高圧噴霧洗浄機を使用
13	IC 基盤・ICチップ	1:20	40℃	10分	超音波洗浄
14	換気扇	1:10	60℃	20分	浸漬攪拌、又は布、タワシで擦る
15	窓ガラス・鏡	1:100	常 温		スプレーして拭き取る
16	ジュウタンの染み	1:50	常 温	20分	手で拭き取り、布で拭き取る
17	ビニールレザー	1:30	常 温		スポンジを使用
18	食器の油汚れ	1:50	常 温		他の洗剤と同じように洗う
19	衣類の洗濯	1:2000	常 温	洗濯機	水 30リットルに 15cc
20	衣類に染み抜き	1:5	常 温		部分揉みして洗濯機
21	厨房器具	1:5	常 温	20分	スプレーして布で拭き取る
22	オープンレンジ	1:1	常 温	一 晩	スプレーして雑巾又は柔らかいハケで拭き取る